

書籍『歴史的大規模土砂災害地点を歩く』（そのⅢ）お申込み

著者割引は「いさぼうネット」のHPからメールで購入申込みをお願いいたします

■■■ ご注文内容（兼ご請求書） ■■■

【氏名（フリガナ）】：

【会社名・支店名/官公庁 事務所名】：

【所属部署名】：

【郵便番号】：〒

【住所】：

【電話番号】：

【E-mail】：

【見積書/日付】：不・要

【納品書/日付】：不・要

【領収書/日付】：不・要

【上記の宛名】：不・要

【注文書籍】

・歴史的大規模土砂災害地点を歩く そのⅢ（著者:井上公夫）

@4,800(5,280)× 冊 (5,280 円)

・歴史的大規模土砂災害地点を歩く そのⅡ（著者:井上公夫）

@4,800(5,280)× 冊 (5,280 円)

・歴史的大規模土砂災害地点を歩く（そのⅠ）（著者:井上公夫）

@4,800(5,280)× 冊 (5,280 円)

【ご請求額】： 円

※代金は先払いです。後払いをご希望の場合には、

井上（k-inoue@sff.or.jp）までメールにてご連絡下さい。

※ご依頼の書類は送付する本に同封いたします。

※振込手数料は、お客様のご負担をお願いいたします。

【入金先 口座名義】 株式会社 創造書房

ゆうちょ銀行 口座番号 00150-5-33745

ゆうちょ銀行以外から振り込まれる場合

ゆうちょ銀行 店名 019（ゼロイチキョウ） 当座預金 口座番号 0033745

新刊案内 全3巻完結(著者割引)

歴史的大規模土砂災害地点を歩く そのⅢ

著者：井上 公夫(砂防フロンティア整備推進機構 専門研究員)

発行所：丸源書店

2020 年 8 月 29 日発売

(B5 判, オールカラー, 268p.)

定価：6000 円＋税

ISBN978-4-9904459-7-3

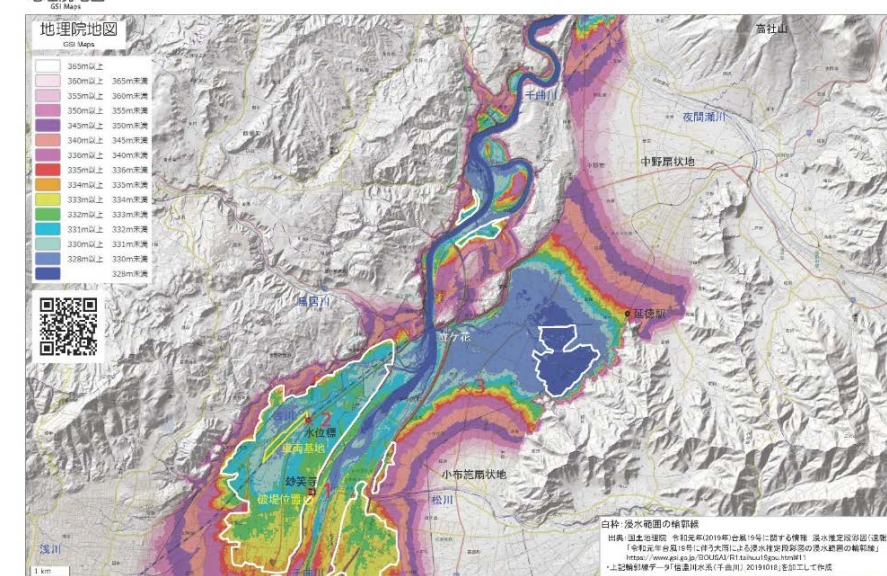
そのⅠ（コラム 1~30）,

そのⅡ（コラム 31~50）も

好評発売中です

自然災害関係の砂防関係者,
理学・工学, 全国市町村の
防災関係者にお勧めします

地理院地図



推薦の辞

本書（そのⅢ）は、そのⅠ（2018 年 6 月刊）、そのⅡ（2019 年 8 月刊）に引き続き、井上公夫氏が日本工営株式会社及び一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構に在職された 50 年間の調査・研究をもとに書かれた「歴史的大規模土砂災害地点を歩く」というシリーズコラム（いさぼうネットで公開）の 51～66 回分をまとめたものです。

この本の「コラム 55, 56」には、私が勤務したことがある新潟県について記述されています。この 2 つのコラムは大きく異なる観点で書かれています。「コラム 55」は、新潟県長岡市（旧山古志村）の中山隧道に関する記述です。中山間地域で豪雪かつ地すべり地帯に暮らす人達が、安全に生活していくうえで必要とした隧道を自ら掘ることを決断し、永い年月をかけて掘り抜いた史実が映画化されました。「コラム 56」は、その後新潟県中越地震が襲い、壊滅的な被害を受けたこの地域が、復興に向けて取り組んだ過程を紹介しています。地形・地質的観点だけでなく、中山間地域における暮らしと過疎化にスポットを当て、著者の「思いが入った」記述になっています。

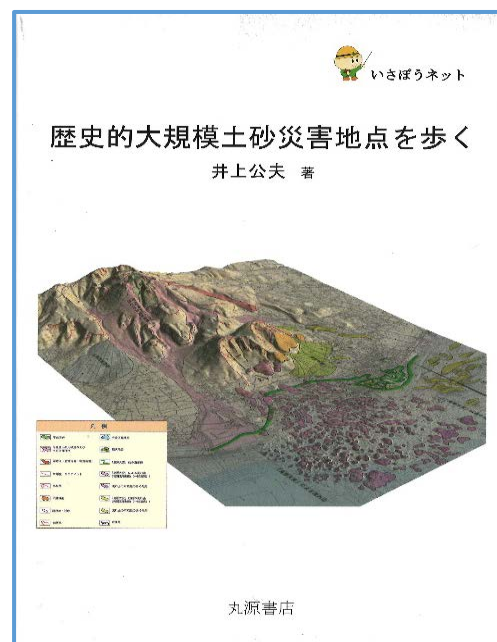
表紙の図は、令和元（2019）年の台風 19 号による千曲川の洪水氾濫を示しています。長野市北部で千曲川が狭窄部に入る上流で新幹線車両基地等が浸水しました。この地区は過去に繰り返し浸水被害を受けています。過去に起きた災害を知ること、今後その場所で起きうる災害として備えることができます。

歴史的な大規模土砂災害を知ること、めったに起きないとはいえ、現実に関与する災害への認識が広がり、防災担当者のみならず個々人の災害に対する危機管理能力を高めることにつながります。防災・砂防関係の調査・研究者だけでなく、市町村や防災関係者や一般の方々にも、本書（そのⅠ、そのⅡを含む）を片手に歴史的大規模土砂災害地点を訪ねることをおすすめします。

一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構
理事長 亀江 幸二

(そのⅢ) 目次
推薦の辞 亀江 幸二
はじめに

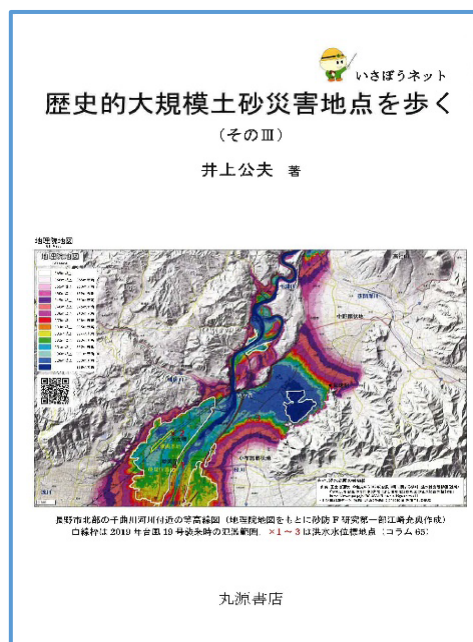
- コラム 51 マヨン火山の 2000 年噴火と警戒・避難
コラム 52 高知県中央部の地形、地質条件と土砂災害との関係
コラム 53 長者地すべりの地形・地質特性と地すべり変動の経緯
コラム 54 昭和 47 年（1972）の高知県繁藤災害
コラム 55 映画『掘るまいか 手掘り中山隧道の記録』の地形的背景
—旧版地形図から山古志の地形と歴史を読む—
コラム 56 新潟県中越地震（2004）による地形変化
コラム 57 大規模土砂災害と防災施設の現地見学会①
—和歌山県田辺市奇絶峡付近の風穴と巨石積堰堤を歩く—
コラム 58 大規模土砂災害と防災施設の現地見学会②
—昭和 28 年（1953）の日高川町彌谷災害を歩く—
コラム 59 福島盆地周辺の地形分類と土砂災害の歴史
コラム 60 2010 年 4 月 25 日の台湾北部第二高速公路の地すべり災害
コラム 61 明治 40 年（1907）の山梨県東部の土砂災害と霹
コラム 62 南関東の「びやく」という地名の由来について
コラム 63 狩野川台風（1958）による洪水氾濫と土砂災害
コラム 64 群馬県北東部尾瀬沼南東部の巨大地すべり地形
コラム 65 長野県北部夜間瀬川流域の土砂災害と砂防事業の歴史
コラム 66 「歴史的な大規模土砂災害地点を歩く」のまとめ
書評・新刊紹介



(そのⅠ) 2018 年 6 月刊



(そのⅡ) 2019 年 8 月刊



(そのⅢ) 2020 年 8 月刊

2018 年 6 月 20 日発行
(そのⅠ) 目次
推薦の辞 水山 高久
はじめに

- I 部 日本の歴史的な大規模土砂災害
II 部 歴史的な大規模土砂災害地点を歩く
コラム 1 寺田寅彦『天災は忘れられたる頃来る』
コラム 2 河道閉塞による湛水（天然ダム）の表現の変遷
コラム 3 ハヶ岳大月川岩屑なだれによる天然ダムの形成（887）と 303 日後の決壊
コラム 4 寛文二年（1662）の近江・若狭地震と町居崩れ
コラム 5 イタリア・パイオントダム（1963）の被災地を訪ねて
コラム 6 1707 年富士山宝永噴火～長期間におよんだ土砂災害～
コラム 7 1792 年の島原大変肥後迷惑
コラム 8 高田地震（1751）による日本海側の無数の大規模土砂災害
コラム 9 高田地震（1751）による名立崩れと追立山の巨大地すべり
コラム 10 日光・大谷川流域の地形特性と土砂移動特性
コラム 11 寛文二年（1662）の日光大災害
コラム 12 1707 年の宝永地震による仁淀川中流・舞ヶ鼻の天然ダム
コラム 13 1707 年の宝永地震と半年後の豪雨による高知県東洋町名留川の大規模崩壊
コラム 14 1707 年の宝永地震と富士川・下部湯之奥の天然ダム
コラム 15 1502 年の姫川流域・真那板山の大崩壊と天然ダム
コラム 16 1714 年の信州小谷地震による姫川・岩戸山の天然ダム
コラム 17 豪雨（1757）による梓川上流・トバタ崩れと天然ダム
コラム 18 天明三年（1783）の浅間山天明噴火と鎌原土石なだれ
コラム 19 天明三年（1783）の浅間山天明噴火と天明泥流
コラム 20 善光寺地震（1847）による土砂災害—当時の絵図と古文書から土砂災害の状況を探る—
コラム 21 善光寺地震（1847）による犀川の岩倉山天然ダム
コラム 22 飛越地震（1858）による土砂災害
コラム 23 飛越地震時の轟崩れと天然ダム決壊洪水
コラム 24 天保五年（1834）の富士山の大規模雪代災害
コラム 25 石打の大規模地すべり（1176）と松之山町湯本地すべり
コラム 26 安政東海・南海地震（1854）による土砂災害
コラム 27 周防大島で発生した 1886 年の激甚な土砂災害
コラム 28 明治 22 年（1889）紀伊半島豪雨による土砂災害
コラム 29 明治 25 年（1892）に四国東部で発生した高礪山と保勢の天然ダム
コラム 30 寛政西津軽地震（1793）による追良瀬川上流の天然ダム

2019 年 8 月 20 日発行
(そのⅡ) 目次
推薦の辞 海堀 正博
はじめに

- コラム 31 天正十三年（1586）の天正地震による土砂災害
コラム 32 明治 24 年（1891）の濃尾地震直撃による土砂災害
コラム 33 濃尾地震後の豪雨による土砂災害
コラム 34 富士川支流・大柳川における天然ダムの形成と災害対策
コラム 35 姫川左支・浦川の稗田山崩れ（1911）と天然ダムの形成・決壊
コラム 36 豪雨（1914）による安倍川中流・蕨野の河道閉塞と静岡市街地の水害
コラム 37 関東大震災（1923）による横浜の土砂災害—9 月 1 日のプールの逃避行ルートを歩く—
コラム 38 関東大震災（1923）による神奈川県東部の土砂災害—横須賀地区と浦賀地区の土砂災害地点を歩く—
コラム 39 関東大震災（1923）による丹沢山地の土砂災害—秦野駅から震生湖周辺の土砂災害地点を歩く—
コラム 40 関東大震災（1923）による小田原市の土砂災害—根府川・白糸川流域の大規模土砂災害地点を歩く—
コラム 41 伊豆大島・元町の土砂災害史と「びやく」
コラム 42 東京都と山梨県の土砂災害を示す「びやく」
コラム 43 神奈川県・静岡県・千葉県の土砂災害を示す「びやく」
コラム 44 カスリーン台風（1947）による土砂災害地点を歩く
コラム 45 長野県西部地震（1984）による御岳崩れと土石流
コラム 46 広島安佐南区・八木地区の災害伝説と大正 15 年（1926）災害
コラム 47 広島周辺の枕崎台風（1945）による土砂災害地点を歩く
コラム 48 大分県日田市大山町山際地すべり（1987）と災害関連対策
コラム 49 富士川右支小武川・ドンドコ沢の巨大深層崩壊と岩石なだれ（887）
コラム 50 1991 年ピナツポ火山の巨大噴火後 28 年間の地形変化